

上北沢桜並木 会



通信
第25号

平成 23 年 12 月 13 日 発行

上北沢桜並木会議

連絡先 代表 石井 昭

上北沢 3-23-10 TEL3303-1524

HP <http://www.sakuranamiki.org/>

お問い合わせ：info@sakuranamiki.org



上北沢桜並木会議は、(財)日本さくらの会から「功労賞」、世田谷区から「環境表彰」を受けました

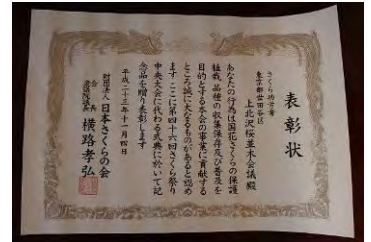
(財)日本さくらの会は、昭和39年に日本の花「さくら」の愛護、保存、育成、普及等を目的に設立され、「さくら」の植樹や愛護、「さくら」名所の保全、名木・巨木保存、また、「さくら」を通じた国際親善活動を行っています。「さくらの日」の制定、「さくら功労者」の表彰、「さくら祭り中央大会」の開催ほか、「さくら」に関する相談、情報の提供を行なっています。

上北沢桜並木会議は、世田谷区公園緑地課、烏山公園管理事務所からのご推薦をいただき、平成23年度功労者に選ばれました。

表彰者は、全国で個人12名、団体は50でした。

また、(財)日本さくらの会には、「日本桜学会」があり、この第3回学会研究発表会には上北沢3丁目在住の石井裕晶様が上北沢の歴史や桜並木について論文を発表されています(題名「上北沢の桜並木街区の歴史」:桜並木会議HP参照)。また、桜並木の観察でお世話になっている石井樹木医もこの財団に関係されています。

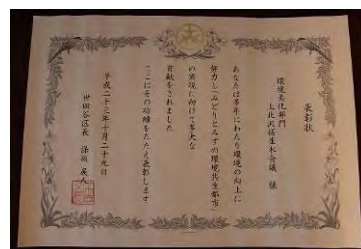
このように、皆様のご協力のもとに表彰を受けたものと考えています。ありがとうございました。



『世田谷区環境表彰』は、「みどりとみずの環境共生都市せたがや」の実現のため、区内で環境の向上に努力し、功労のあった団体、事業所または個人を表彰する制度です。

この表彰は4つの部門があり、桜並木会議は「環境美化部門」で表彰されました。

この表彰にも、世田谷区烏山総合支所からのご推薦をいただき、ありがとうございました。



桜並木『花芽観察会』を行います

平成24年1月29日(日) 10時~12時 (午後のセミナーは無し)

集合場所:上北沢桜並木昭和信金前 <小雨決行>

ご指導いただく方:石井誠治樹木医 ※事前申込みは不要ですので当日お集まり下さい

上北沢区民センター文化祭が11月5日(土)・6日(日)に開催され、 上北沢桜並木会議では入口正面に以下のパネルを展示しました

- 上北沢と周辺地区の今昔
- 水彩画でみる大正～昭和（京王電鉄沿線を中心に）
＜3ページ参照＞
- 桜並木の現状＜4ページ参照＞

上北沢と周辺地区の今昔

「上北沢と周辺地区の今昔」は、保存している昔の上北沢の写真と、それとほとんど同じ位置で撮影した現在のものを比較したものです。

- ・甲州街道旧八幡山駅入り口付近（現在：上北沢4，5丁目）
- ・甲州街道と環状8号線交差付近（上北沢4丁目）
- ・粕谷八幡神社と別れの杉（芦花公園北側）
- ・旧三井牧場（桜上水4丁目）
- ・玉川上水跡（下高井戸4丁目）
- ・井出さんの森（現コートテラス）付近（上北沢1，3丁目）
- ・上北沢駅
- ・旧安楽寺のお地藏様



甲州街道旧八幡山駅入口付近
（現在：上北沢4、5丁目）



甲州街道と環状8号線交差付近
（上北沢4丁目）



粕谷八幡神社と別れの杉
（芦花公園北側）



旧三井牧場（桜上水4丁目）



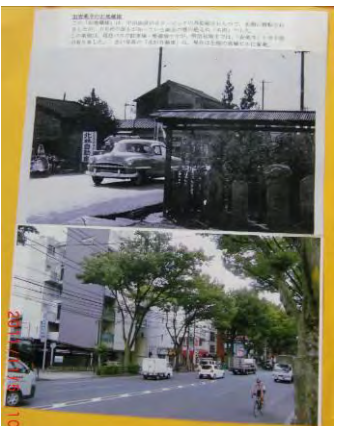
玉川上水跡（下高井戸4丁目）



井出さんの森（現コートテラス）付近



上北沢駅



旧安楽寺のお地藏様



出展者（和田和典さん）の一言

戦後の混乱期が終わり経済が上昇期の1959年（昭和34年）頃以後、オリンピック等もあり、東京の近代化が進むと同時に、「古いもの」や「自然」が片っ端から破壊されました。10月に「世田谷の思いをつなぎまちを育む風景写真」として、「現在」と「過去」の世田谷区内の同じ場所の風景写真の募集があり準備していたので、世田谷区内に限らず他区も含め、上北沢周辺を対象に1960年代の風景写真と比較したものを展示しました。来場の方々には、古き良き時代を思い出していただいたようでした。

水彩画でみる大正～昭和（京王電鉄沿線を中心に）

「水彩画でみる大正～昭和（京王電鉄沿線を中心に）」は、会員のお父様（野口健司様）が描かれた多くの水彩画の中から、京王電鉄沿線を中心のものを展示しました。

展示内容は、昭和期と大正期に分けられ、大正期は7点、昭和期は6点を展示しました。

大正期の展示は、以下のとおりです。

- ・井の頭公園
- ・千駄ヶ谷駅付近
- ・笹塚駅周辺（2点）
- ・代々木練兵場
- ・中野駅付近
- ・神田ニコライ堂



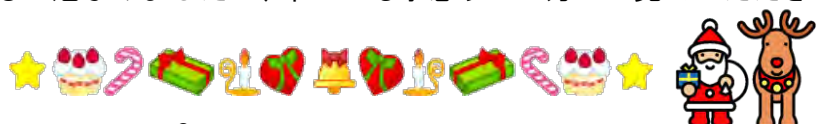
昭和期は、以下のとおりです。

- ・北澤左内町分譲地（現 上北沢三丁目）
- ・北沢車庫前駅（現 桜上水駅）
- ・三井牧場付近（現 桜上水4丁目）
- ・仙川にあった「津村薬草園」
- ・蘆花恒春園の庭
- ・井の頭線は開通前の現 明大前駅付近



出展者（野口欣一さん）の一言

この地に生まれてその変わり方を見てきましたが、この周辺の風土が、とても人にやさしく豊かだったのだということがつくづく感じられます。これから先の街のあり様を考える上でもこれらが大切な要素の一つになると思い、手持ちの古い資料を皆さんに見ていただけるよう準備をしました。当初は興味を持っていただけるか危ぶみましたが、幸いにも予想以上の方々に見ていただき感謝しています。



桜並木の現状



「桜並木の現状」は、秋の実態調査（9月23日実施）の結果報告と、傷がついて問題となっている桜や、倒木の危険があって伐採した桜の現状を示しました。

No.47

根元も弱っていましたが、恐らく人が蹴飛ばしたか何かをして根元がえぐられました。



No.42

12月～1月に新しいソメイヨシノが植えられる予定です。

★桜の木の枝に建築資材運搬用の車がぶつかり、4本が傷つきました（2011年10月27日）

大部分は恐らく10年もの枝です。No.44、45、46は、並木でも古い部類に属する木です。No.40は比較的若い木です。何れもアーチ型の枝となっていました。



No.44



No.45

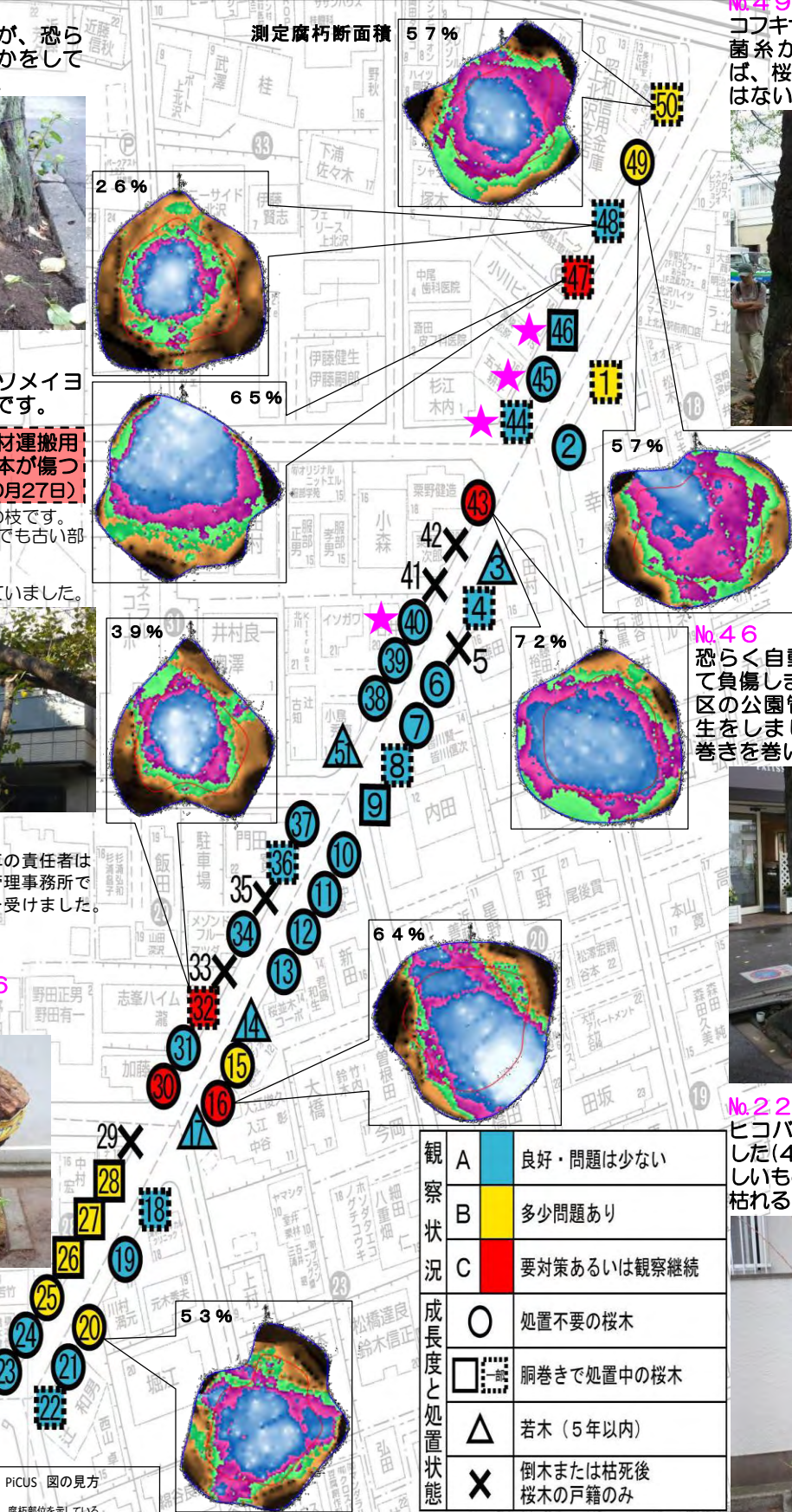
運搬車の責任者は公園管理事務所での注意を受けました。

No.46



No.29

枝がかなり傾斜して、通行の妨げになるばかりではなく、倒木の恐れが出てきたため伐採しました。来年度予算で植え換えが行われる予定です。



No.49

コフキサルノコシカケ：菌糸が飛散しなければ、桜には大きな影響はないと思われます。



No.46

恐らく自動車に当てられて負傷しました。その後、区の公園管理事務所が養生をしました（現在は胴巻きを巻いています）。



No.22

ヒコバエが白木化しました（4年目）。非常に珍しいものですが、何れは枯れるとのことでした。



観察状況	A	良好・問題は少ない
	B	多少問題あり
	C	要対策あるいは観察継続
成長度と処置状態	○	処置不要の桜木
	□	胴巻きで処置中の桜木
	△	若木（5年以内）
	X	倒木または枯死後桜木の戸籍のみ

PICUS 図の見方

- 白色：腐朽部位を示している。
- 青色：紫色、青色、白色の順で腐朽がひどくなっていることを表す。
- 茶色：腐朽していない部分を示している。
- 緑色、茶色の順で材がしっかりしていることを表している。



石井樹木医判定（平成23年9月23日）
画像診断調査（平成22年12月19日）

会員のお店紹介



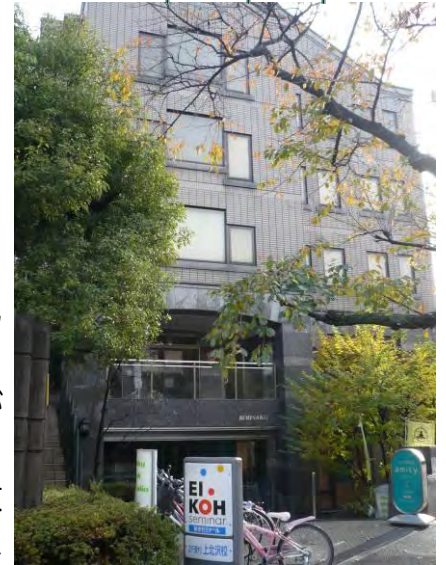
幸作ビル

桜並木の第1ブロックの角に
5階建てのビルがあります

《夢を紡ぐ幸作ビルオーナー小作さん(72歳)を お訪ねして》

暑い7月の昼下がり、いつの間にか上北沢の風物詩となつてしまったシックな幸作ビル3Fに社長さんをお訪ねしました。いたずらっ子がそのまま大人になったような幸作さんにお目にかかり楽しいお話しに時間を忘れました。

ご両親は当時珍しかった大恋愛結婚。神楽坂の樽屋さんがご実家だった母上とそこに丁稚に入られた父上との大ロマンスでした。当時、樽屋さんと言えば日本企業を支える一大企業でした。母上は後に地域婦人会で大活躍をされることに



幸作ビルが建つ前にあった庭の灯籠
(戦火で焼けた上野寛永寺から預かったもの)

なる女子高等師範出身の才媛でしたからお二人の苦労は並大抵ではなかったことでしょう。その苦労を間近に見ながら育った幸作さんは26歳で母上推薦の現夫と結婚、4年間勤められた銀行を辞めて家業を一手に引き受けられ、発展させられたそうです。お仕事は最初は樽の製造販売(これは取引が樺太、満州、朝鮮に及び)、後に瓶に代わりました(大手企業サントリー等と取引される)。こんな社長さんにも時代の荒波が押し寄せバブルが崩壊、その直後に相続が発生、あわや夜逃げかと追いつめられたようです。その時にご両親の苦労を思い、且つ、ご自身の生きた証をどうしても残したいとの一心で幸作ビルを建てられました。

サントリーホールを彷彿とさせるような正面のたたずまい、使われているレンガは母上のお選びになったイタリア産の物、全てに幸作さんの親孝行への思いと夢が詰まったビルが完成したのは平成2年のことでした。

最後に、富士山を額縁に入れたように見える窓を持つ最上階の幸作さんのこだわりと遊び心の詰まった部屋を見せていただきました。

健康法は週2回、用賀の50メートルプールで10往復することと、週一の山梨県鳴沢ゴルフ場で日帰りゴルフをなさること、なるほど青年のような若々しさの秘密はこれかとため息が出ましたが、さすがに片道100キロあるゴルフ場通いは毎回最後かなと思うようになったと、ちらっと言われたのを伺い、私共70代後半の3人組みはやはり人並みなこともおありですねと、いささかほっとして家路につきました。

(インタビュー：石井 直美さん)



[オーナー 小作 英男さん]

地域の話題・・・《まちのこと》《桜のこと》

接ぎ木の現状

2本の接ぎ木のうち、1本は枯れてしまったようです。

平成21年	3月	小金井公園 後継樹育成苗圃で接ぎ木(13本)
平成21年	9月	育成中9本確認
平成22年	7月	育成中2本確認
平成22年	12月	八幡山「はらっぱ広場」へ移植
平成23年	3月	1本は恐らく枯死
平成23年	12月	現在1本のみ「育成中」



上北沢駅周辺地区まちづくり協議会

『「上北沢のよさを継承した、いつの時代にも安全・快適に暮らせる街」を目指して』を目標・テーマとして、平成19年12月に「勉強会」を発足以降、平成23年11月まで協議してきた内容がまとまりました。

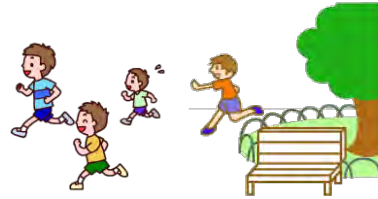
その結果は、世田谷、杉並両区に提案・提出します。

連絡先：〒156-0057 世田谷区上北沢5-13-7 上北沢駅周辺地区まちづくり協議会事務局
または協力専門家(吉川 仁一都市プランナー TEL03-3378-1960)



松沢病院東側の「将軍池公園」

東京都は年度内(来年3月)の開園に向けて、工事発注の手続きをしています。



松沢病院南側の道路改良

クランク型の線形をS字型線形に改良しています。

来年3月に完成する予定で工事が進んでいます。松沢病院側には3本のメイヨシノが植えられます。



上北沢桜並木会議の現状

会員数 個人会員：103人 法人会員：6社
計：109人・社

平成23年度活動資金 365,100円
(内239,000円が今年度会費)

上北沢桜並木会議とは？

上北沢駅前の桜並木は、80年余前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にする心を種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。

お問い合わせ： info@sakuranamiki.org

連絡先：石井 昭 TEL:3303-1524



●桜並木会議が行う月例会(第3火曜日18:30~)や行事等に、是非ご参加下さい。会議の場所は上北沢区民センターです。

●桜並木会議では、活動資金のご協力をお願いしています。

●桜並木会議の活動状況は、HP (<http://www.sakuranamiki.org/>) に出ていますので、ご覧下さい。

